第5弾企画

主催：仙台市聴覚障害者協会

講演会　野呂　一氏
ろう者と手話の歴史　～函館の事例から考えてみる～

昭和時代後半から手話奉仕員の養成や設置・派遣など手話事業が広がり始めました。
しかし、その前のろうあ協会では、どのような活動をしていたのでしょうか？
北海道の函館には、聴者の参加がなかった頃の行事を撮影した貴重な映像記録が残っています。
その映像を見ながら、日本の手話事情について、戦後から現在に至るまでの流れを考えてみましょう。

■講師　野呂　一（のろ　はじめ）氏 プロフィール



ねんれい：63 歳
すまい：東京都葛飾区柴又
しごと：令和 7 年に中野区役所を定年退職。現在は無職。
がくれき：北海道函館聾学校で幼稚部から中学部 1 年まで学ぶ。
その後、筑波大学附属聾学校に転校して高等部卒業。
41 歳のとき、横浜国立大学大学院（夜間コース）修了。
趣味：パソコンいじり、温泉旅行、グルメなど。
（聾歴史研究）
◉ろう者偉人伝　横尾義智（ろう者村長）
◉ろう教育
◉手話の歴史

■日　時：2026 年 12 月 12 日(土)13 時 30 分～16 時
■場　所：アースブルー仙台勾当台ビル 8階 第 1 会議室（受付時間 13 時～）
■定　員：70 名　　事前申込必要（先着順にて受付 定員になり次第締切）
■参加費：正会員・賛助会員 500円 / 一般 1,500 円

※手話のみでの講演となり、手話通訳はついておりません。手話のわからない方は、資料を見ながらご参加いただく形になります。参加希望の方は、ご了承の上、お申し込みください。

問い合わせ・連絡先：仙台市聴覚障害者協会
FAX:022-723-4875 / E-mail : sendai530709@gmail.com

※参加を希望される方は、下記にご記入の上、お申し込みください。

参加申込書　12月4日(金)まで

名前	
名前	
FAX 番号	
E-mail	